

とちぎeスポーツ地域活性化実行委員会事業委託業務公募型プロポーザルに係る質問・回答について

No.	資料名	頁数	質問内容	回答
1	(2) 仕様書	2	「～様々な層に対してeスポーツへの理解を深めるための体験会を実施すること（6回程度）」とは、その後続くaとb（高齢者対象の体験会・障害者対象の体験会）をそれぞれ含めて、合計6回程度という認識で合っておりますでしょうか。	高齢者向け5回程度、障害者向け1回程度、合計6回程度を想定しています。
2	(2) 仕様書	2	障害者を対象とした体験会における「障害者支援団体等」は実行委員会側で選定いただけるのでしょうか。また、体験会当日の障害者サポート要員（ヘルパー等）も実行委員会側で確保いただけるのでしょうか。	障害者支援団体等は実行委員会側で選定することを想定していますが、受託者の提案を妨げるものではありません。また、必要なスタッフの確保など体験会の運営については、受託者と実行委員会の協議の上、実施することを想定しています。
3	(2) 仕様書	2	eスポーツ体験会となる会場となる施設について、ターゲットとなる参加者数の目安はおおよそ何人となるでしょうか。また、開催時における目安時間やその指定などあるでしょうか。 例：2～4時間以内で実施など	参加者数や時間について、指定はありません。なお、昨年度は最大50人、2時間程度での開催でした。
4	(2) 仕様書	2～3	体験会の実施において設定会場から電力供給を頂ける認識でしょうか。またその場合、電力使用の費用については無償と考えて宜しいでしょうか。	実施会場により発電機等の設備や使用料を要する場合は、委託料総額の中から捻出いただくこととなります。
5	(2) 仕様書	3	プログラミング講座はeスポーツフェスタと同日開催でも可能でしょうか。また、扱うゲームタイトルについて指定はあるでしょうか。 例えば、マイクラフトが対象の想定となっているでしょうか。	同日開催にすることも可能です。ゲームタイトルの指定はありません。
6	(2) 仕様書	3	とちぎeスポーツフェスタ事業において、昨年度に使用していた公式WebサイトのドメインやSNSアカウントは、今年度も引き継いで使用することができのでしょうか。その場合、サーバーの紐付け先を受託者で指定させていただき、改修、運用していくといった認識でよろしいでしょうか。	昨年度使用していた公式サイトのドメインやSNSアカウントは、現在当課で引き継いでおり、今年度も使用することが可能です。改修、運用については、お見込のとおりです。
7	(2) 仕様書	3	昨年度のとちぎeスポーツフェスタ事業に関わる制作物で、今年度も引き続き使用できるものはありますか。	引き続き使用できるものはありません。
8	(2) 仕様書	5	「イベント名称に協賛企業名を付すことも可能とする」とありますが『とちぎeスポーツフェスタ』というイベント名称を新たに考案してもよろしいでしょうか。	受託者により新たなイベント名称を提案することは妨げませんが、実行委員会と協議の上、決定するものとなります。